

さいたま市立内谷中学校

白いノート

教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく
令和8年2月2日

〒336-0034 さいたま市南区内谷 6-10-1 TEL 048-861-7571
さわやか相談室 TEL 048-865-7573

<https://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>



「没頭」という名の学び

校長 瀧山 聡美

暦の上では立春が近づいておりますが、まだ寒さの残る日が続いております。多感な時期を過ごす子どもたちにとって、2月はそれぞれの学年の締めくくりに向かうと同時に、新年度に向けて、自らの進路や「自分はどうかありたいのか」という問いに向き合う、静かで重みのある季節です。

この時期になると、私はまだ教員駆け出しのころに出会った詩「優劣のかなたに」を思い出します。作者は、戦後日本の国語教育を牽引し「国語の神様」と称された大村はま先生です。先生は、点数や順位といった表面的な結果にとらわれることを厳しく戒め、教育の真髄を次のように綴られています。

優か劣か
そんなことが話題になる、
そんなすきまのないつきつめた姿。
(略)
学びひたり
教えひたっている
それは優劣のかなた。
ほんとうに持っているもの
授かっているものを出し切って、
打ち込んで学びひたり
教えひたっている
そういう世界
(略)

私たちはともすれば、評価や評定といった物差しや他者との比較に心を奪われがちです。特に進級や進路選択が現実味を帯びるこの時期、焦りや不安を感じるのは当然のことかもしれません。しかし、大村先生が求めたのは、誰かに勝つための勉強ではありませんでした。子ども自身が持っている力を全て出し切り、優劣を競う余裕などなくなるほどに、目の前の学びに熱中する一、その「没頭」の経験こそが、生涯消えることのない「本物の知性」の土台となる、と説いています。

子どもたちのために、私たち大人が今できることは何か。それは、転ばぬ先の杖と先回りして答えを与えることではなく、

子どもたちが「どうしてだろう」と立ち止まり、考え、試行錯誤する時間を保障することではないだろうか…、と最近よく思うのです。たとえ歩みはゆっくりでも、自ら考え、悩み、一歩ずつ自分の言葉・思考・表現を獲得していく、その「もどかしい時間」の中にこそ、成長の種が宿っているのではないかと…。日々の忙しさに追われ、効率化ばかり優先し、この尊い「没頭の時間」を奪ってしまわぬよう、自分自身も自戒せねばならないと、いつもこの詩が教えてくれます。

春の足音は、確実に近づいております。この2月、子どもたち一人ひとりの「真剣な眼差し」や、ふとした瞬間に漏らす「自分なりの発見」に耳を傾けることで、優劣を超えたところにある、その子だけの輝き、成長の芽が見つけられるように。そして、子どもたちが、自分自身の力を信じて、自信を持って次の一步を踏み出せるように。

引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

※予定は変更になることがあります。

[illegible]

- ・安全点検の結果、危険箇所等はありませんでした。
- ・学校給食費第8期（1月分）の納付期限（口座振替日）は、3月2日（月）です。
口座登録済みの方は、残高不足にご注意ください。
口座登録が未完了の方には、納付書が期限1週間前までに自宅へ届きます。

(問い合わせ先：おいしい給食サポート課給食会計係 048-829-1591)

- ・令和8年度就学援助制度のお知らせを配布しました。ご希望される場合は、配布されたお知らせを確認いただき、メ切順守で手続きをお願いいたします。
- ・戸政まりな教諭（12月下旬より病氣休暇）が、今月より復帰しました。

表彰の記録

○ R7 埼玉吹奏楽コンクール新人戦 銅賞

2年 久保田萌愛、櫻井 心結、須崎 夏美、豊田 美雲、前田 優彩、三上 寧々
室井勇史朗、柳澤 果歩

1年 浅野 馨子、浦壁 美遥、押川明日羽、小淵 琴心、金杉理紗子、亀山 結衣
木本 吉隆、桑原 茜、小島 愛未、杉浦 汐、高橋 紗希、武田 百花
冨永実央梨、仁平乃々華、野崎 孝太、橋本 美咲、林 梨堵、己浪 礼愛
山口 純芽、渡邊菜々緒

○ 第32回 JBA 埼玉県部会管打楽器ソロコンテスト トロンボーン 銅賞

1年 桑原 茜

【1月の行事より】

3 学期始業式 1 月 8 日（木）

1月8日より、一年で一番短い3学期が始まりました。始業式は、1，2年生が体育館にて参加し、3年生は進路選択を間近に控えていることから、学級でオンライン参加をしました。

新年を迎え、進学や進級に向けて準備を進めていきましょう。



土曜学校公開・新入生保護者説明会 1 月 1 0 日（土）

学期初めのとても寒い日ではありましたが、300名を超える方にご来校いただき、生徒の学びの様子を参観していただきました。

同日午後には令和8年度4月に入学予定の1年生の保護者の方を対象にした「新入生保護者説明会」を開催しました。

学習者用端末の納品 1 月 2 6 日（月）～2 7 日（火）

現在使用している学習者用端末は、今年度末でリース会社に返却となり、新しい端末が3月から新2，3年生に貸出されます。900台超の端末の入れ替えに向けて、機器の納品等が実施されました。5年間使用するものなので、ご家庭でも、大切に使用するようお話しください。

なお、端末のOSはWindowsからiOSとなり、学習者用クラウド環境もTeamsからGoogle Classroomへと変更されます。ペアレンタルコントロール機能の案内等も含めて、改めてお知らせいたします。



自然の教室

1月23日（金）～1月25日（日）



さいたま市立館岩少年自然の家を利用した、「自然の教室」を2年生が2泊3日で実施しました。寒波の影響で寒さ厳しい3日間となり、最終日のスキー場は吹雪いていましたが、スキー実習も宿舎でのレクもとても充実したものとなりました。

初日の見送りや帰着時のお出迎えなど、たくさんの保護者の方のご協力をいただきました。事前準備も含め、たくさんのご協力ありがとうございました。

